



# 津山版かわら版



津山市教育委員会だより 平成26年12月 第17号

教育委員長

就任「あいさつ」



森 尚美  
教育委員長

日頃より津山市の教育に関心を持って様々な形でご協力いただき心よりお礼申し上げます。

津山市教育委員会は教育委員5人の合議制で、多種多様な案件について5人がそれぞれの立場から津山市の教育行政の推進のために意見を述べて会議を進めています。

教育委員長に選任され、教育委員としての使命と責任の重大さをより一層強く感じています。

現在津山市では、「子どもたちが生き生きと学び、楽しく遊び友達を作り、自分であることに誇りを持ち夢と希望を育むことができる」「わかる授業、学ぶ喜び、楽しい学校」を目指し、学校力向上に向けて取り組みを進めているところです。

しかし、学力・学習状況調査では様々な課題が見つかりました。その結果を踏まえて、各学校で課題を分析し、「確かな

な学力」を育んでいきたいと思っております。

子どもたちは輝いており、無限の可能性を感じることが出来ます。これからの津山を担う子どもたちが「生きる力」を育んでいけるよう、学校・教育委員会・地域が一丸となつて津山の教育を推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 教育委員が各種研修会に出席しました

11月12日水、岡山県市町村教育委員会連絡協議会平成26年度研修会が開催されました。

阪神大震災で被災した外国人住民への情報提供をきっかけとして、「人の多様性に配慮した地域づくり」の重要性を推進されているダイバーシティ研究所の田村太郎先生の講演を拝聴し、様々な違いを受け入れ、互いに対等な関係を築こうとしながら、全体としての調和がある組織や地域作りを学校から推進していかねければならないと感じました。また、11月26日水には美作地区市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会が開催され、

「自立支援という視点から見た不登校へのかかわり」として、岡山大学東條光彦先生が講演されました。

指導者は十分に話を「聴く」ことを基盤に現状評価を行い、それぞれに無理のない目標を設定し、子どもたち自身のイメージを使い、ゴールを意識し続けることが大切なのだそうです。そういう意識を持つて子どもたちと関わっていきたいと思います。

## 新教育委員のご紹介

12月25日付けで新たな教育委員として、長江真理子氏、寺元貴幸氏の2名が任命されました。任期：平成26年12月25日から平成30年12月24日まで。



長江真理子  
教育委員



寺元貴幸  
教育委員

## 津山市における就学前教育・保育カリキュラム公開保育研修を実施しました

平成26年10月23日(木)、津山市立勝北風の子こども園において、「津山市における幼児教育の理念と展望」に基づいたカリキュラムの活用と検証を目的に、「津山市における就学前教育・保育カリキュラム公開保育研修」を初めて開催しました。

公立・私立の保育園(所)の保育士、公立・私立の幼稚園、小学校の教諭ら関係者約180人が参加し、公開保育では、「自分らしく周りの人とかわり、人とつながる力を育てる」を研究テーマとした実践の様子が披露されました。全体会では、乳幼児の発達に合った保育者の環境構成や援助、今後の活用方法について、各グループで熱心な議論が交わされました。



勝北風の子こども園での公開保育の様子

ホームページに掲載中！  
 「全国及び岡山県学力・  
 学習状況調査」の結果

津山市では学力向上に向けた取組を進めています。

4月に実施した「全国及び岡山県学力・学習状況調査」の結果については、市民の皆さんへ検証結果をお知らせし、説明責任を果たす必要があると考えています。

そのため、本市の状況及び各小・中学校ごとの改善プランや「つやまげんぼ塾」等の具体的な学力向上の取組をホームページに掲載しています。津山市のホームページの検索窓に「学力・学習状況調査」と入力してご覧ください。

**若手教員の指導力向上  
 「つやまげんぼ塾」開講**

津山市では、学力向上に向けた取組の一つとして、「つやまげんぼ塾」と題して若手教員の授業力向上を目指した自主研修を開催しています。「げんぼ」という名前は、日本最初の医学雑誌を翻訳する等、幕末に活躍した津山藩出身の代表的な蘭学者、箕作阮甫（みつくりげんぼ）が由来です。

来年度は10月から2月までの月に1度、水曜日の18時〜20時に約30名の小学校教員の研修を予定しています。

内容は、子どもに楽しく分かりやすい授業をするための指導技術に関するものや、生徒指導に関するものを中心に行います。

例えば、フラッシュカードの指導法についての研修では、都道府県名や地図記号を覚えるカードを模擬授業形式で、実際に使いながら指導方法を学びました。その後、学校で実践してきた自作のフラッシュカードを持ち寄り、指導場面を見せ合うことで工夫点について研修しました。

「つやまげんぼ塾」塾生募集！  
 第1回 10月29日開催  
 教師力をフラッシュアップ  
 授業の質を高める！  
 楽しく授業のポイント  
 対応力UP 生徒指導  
 すぐ使える指導技術  
 子どもの学びを深めるには？  
 教材研究のポイントがほしい

☆研修内容例一部紹介（参加者の希望等により研修内容を調整）  
 ①「知識習得のためのフラッシュカードの効果的な指導方法は？」  
 ②「どんな指導方法がより効果的なのでしょうか？実際にしてみましょう。」  
 ③「音読のバリエーション、いくつか控えていますか？」  
 ④「児童が声を出し、声をそろえるためのポイントは同なのでしょうか？」  
 ⑤「学力テストに 대비し、力をつづける算数授業のポイント」  
 ⑥「いつもの授業を振り返り、ステップアップするために。」  
 ⑦「保護者が理解をよめる半信半疑」  
 ⑧「児童のトラブルに對するポイントは同なのでしょうか？」

若手教員の指導力向上をサポートします。

音読の指導法の研修では、国語の教科書を使い、詩の音読指導について学びました。児童役になり、声の大きさや速さに気を付け、二人ペアで読んだり、グループで読んだりしました。読み方に変化をつけながら読むことで、児童がより分かりやすく学習できる方法について考えました。



フラッシュカードの指導

授業の導入場面についての研修では、どのようにして子どもに学習の「めあて」をもたせ、授業を展開するのかを演習や授業ビデオ分析を通して学びました。

授業ビデオ分析では、参加者が持参した導入場面のビデオを見ながら、自分ならどのように授業するのかという代案を考えながら、授業を見る



グループで詩の音読発表

視点や授業構成のポイントについて学びました

生徒指導についての研修では、子どもや保護者にとのように対応すればよいのかをロールプレイなどの演習を交えながら学びました。教員として保護者に対応する際の姿勢や同僚とどのように連携するのか、「ハウレンソウ」の合言葉の意味を確認しながらポイントについて学びました。



算数の導入場面の指導

今後も定期的に研修を重ねていくことで授業の質を高め、子どもの学力アップにつなげていきたいと考えています。

参加した教員の声

「フラッシュカードや音読など、普段何気なく使っていた教材、指導法も、実際に講師の先生方のモデルを見たり、話を聞いたりすることで、気をつけるポイントや見方が大分変わりました。教材研究や保護者対応についても、今日を期に、また改めて学んでいきたいと思っています。」

「一回目の学びを継続していくことが大切だと思っています。集団で考えていく中で、自分だけでは見つけられない気づきが多くありました。明日から生活にいかしていきたいと思っています。自分一人では思いつかないアイデアや授業展開をたくさん知ることができました。」

「つやまげんぼ塾」のホームページアドレスは、以下の通りです。

http://www.city.tsuayama.  
 19.jp/index\_cf\_m21\_52036\_1  
 41\_435.html



# クローズアップ 市教委

## 鶴山塾開塾30周年 記念大会の開催

津山市教育相談センター「鶴山塾」開塾30周年にあたり、記念大会を10月25日（土）に勝北文化センターで開催しました。

記念講演は、日本でのスクールソーシャルワーカーの第一人者である山下英三郎氏をお迎えし、「子どもたちとつながり・つながる」確かな明日へ向けて」と題して行いました。



山下英三郎氏による記念講演

「子どもとつながるために必要な要素（傾聴・対等性

等）や、豊かな子どもを育てるためには支える人と居場所の確保が必要で、子どもを肯定的に支えることが大切である」等を学びました。



開塾30周年を迎えた鶴山塾

鶴山塾長による基調報告では、「治そうとするより、わかるうとせよ」という開塾からの変わらぬ基本姿勢や子どもや保護者への支援等について報告しました。

また、相談員による事例報告では、2人の子どもの事例を挙げながら、これまでの教育相談活動の成果と課題を報告し、山下氏や医療、行政関係者のそれぞれの立場から助言をいただきました。約300名の参加者が集い、「子どもたちが社会で生きるために今、何ができるか」を共に考えることができました。

## 「絵本に出てくる料理教室」の開催

11月9日、秋の読書週間にあわせて、美作大学の調理室で「絵本に出てくる料理教室」を開催しました。

参加した親子は、美作大学生による「くりとぐら」と「おきなかぶ」の読み聞かせを聞いた後、物語に出てくる大きなカステラとミルクスープ作りにチャレンジしました。

津山産の食材を使用した料理作りでは、子どもたちが卵の白身と黄身を分けたり、小麦粉をふりながら、「おいしくできるかな？」などと親子のふれあいを深めている様子が見られました。



「おいしくできるかなあ？」楽しみ～

また、空き時間には、ぐ

りとぐら』の塗り絵をラミネートして、ランチョンマットを作り、絵本の世界を満喫しました。

終了後には、「お母さんと一緒に作れて楽しかった」「絵本の中の料理を作れてうれしい」という声がたくさん聞かれました。

このイベントをきっかけとして、子どもたちが、さらに絵本の世界に触れ、興味を持ってくれることを願っています。



## 津山市指定重要文化財に 指定「徳守神社の鉄盾」

津山市宮脇町所在の徳守神社の鉄盾2枚が津山市指定重要文化財（歴史資料）に指定されました。

徳守神社は、江戸時代に津山城下町の総鎮守とされており、津山藩第2代藩主森長継が寛文4年（1664年）に造営した社殿は、岡山県指定の重要文化財です。

鉄盾は、初代藩主森忠政が大坂の陣の後に奉納したと

伝えられているものです。

鉄盾1枚は、細長い鉄板5枚を鉄で留めたもので、大きさは縦91cm、横44cm、重さは15kgです。上下に取っ手が付けられ、2枚の盾を蝶番でつなぐことで、1組の大きな盾になります。

片方には、ふたのついた小さなぞき窓が設けられています。また、ところどころに、深さの異なるくぼみや、弾が貫通したと思われる穴が残されています。

大坂の陣では、銃撃にさらされている諸大名に対して、鉄盾10張が授けられたという記録もあることから、実際に戦闘で使用されたと考えられます。

徳守神社の鉄盾は、初代藩主森忠政ゆかりの資料であると同時に、大坂の陣に関連した貴重な歴史資料といえます。



徳守神社の鉄盾2枚

**アイスランド津山  
オープン**

開放感のある屋外でスケートができる「アイスランド津山」が今年もオープンしました。

手軽な料金でスケートが体験でき、こどもや親子連れを始め年間平均1万6千人を超える利用があります。

開場期間は、平成26年12月13日(土)から平成27年2月22日(日)まで。

利用料金は一般600円、中学生350円、小学生以下200円、靴代300円と手軽な料金で、楽しめるところが大きな魅力。



開放感のある屋外スケートリンク

開場時間は午前9時から、毎週火・木・金・土曜日は午後8時まで、水曜日は午後7時半まで、日・月曜日、年末、

年始は午後5時までです。休場日は、12月31日と1月1日(天候により臨時休場する場合有)。

初心者向けにボランティア講師による教室や団体向けスケート助っ人事業ともに受講料無料を開催し、毎週金曜日(1月2日を除く)は滑走料が無料になります。土・日・祝日には、うどん、焼きそばなどの販売もあります。

心とからだのリフレッシュに、西日本最大級の屋外スケートリンク場にぜひお越しください。

**津山市立図書館で開催**

夜のおはなしかい

第1回 つやま読書会  
ヒブリオバトル

11月29日(土)、久米図書館にて、「夜のおはなしかい」を開催しました。

こくちゃん「ロボットカミイ」の紙芝居、宇座川亭宇座治師匠の落語「ときうどん」の断、ブラックライトパネルシアター、クイズ形式の宝探し、図書館探検で盛り上

がりました。多くの親子が、普段とはひと味違う夜の図書館での行事を楽しんでいました。



『夜のおはなしかい』の様子

11月1日(土)、作家の平茂寛氏(津山市在住)を招いて、「第1回つやま読書会」を開催しました。

読書好きの参加者は持参したお気に入りの本を紹介しあい、「おすすめ本を読んでもみたい」「読書会をまた開催して欲しい」と交流を深めました。

11月8日(土)、「第2回ヒブリオバトルin津山市立図書館」を開催し、一般の部・学生の部それぞれお気に入りの本について熱い書評バ

トルが繰り広げられました。来場者は「紹介された本に興味を持てた」「自分も発表してみたくなった」等を感じながら、投票で一番読みたくなった「チャンプ本」を選びました。

**津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町  
保育園(所)・幼稚園合同  
研修会が開催されました**

平成26年11月13日(木)

津山市総合福祉会館において、保育園(所)・幼稚園合同研修会が開催されました。

講師に中京大学心理学部客員教授 鯨岡 峻氏をお招きし、「なぜ、子どもの心を育てることが今必要なのか」と題して講演いただきました。公立・私立の保育園(所)の保育士、公立・私立の幼稚園、小学校の教諭ら関係者約140人が参加し、子どもに関わる保育者が、「あなたが大事」といつ思いをもち、自己肯定感や信頼感、発達などの視点をもって「心を育てる保育実践」に努めることの重要性を共有することができま

した。自治体の区域を越え、地域全体の保育・教育の質の向上を図る上で極めて有意義な研修会となりました。



鯨岡 峻氏による講演

発行 津山市教育委員会  
(編集 学校教育課教育総務課)  
〒708-8501  
津山市山北520番地  
TEL 0868-32-2112(直通)  
FAX 0868-32-2157  
E-mail: [kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp](mailto:kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp)

教育委員会関係課：教育総務課 学校施設課  
学校教育課 保健給食課 生涯学習課 図書館  
文化課 津山市史編さん室 スポーツ課 こども課